

あすなろの家 平成29年度事業報告

・事業推進状況

今期は、本物のケア「理論に裏付けされた専門性の高いケアの提供」、本物の接遇力「観る・聴く・感じる・読み取る・話す・伝える・察する・想像する・気づく・相手のことを大切に思い感動を生み出す対応を」、本物の繋がり「あすなろの家がここにあると地域の方々に感じて頂けるように」この3つを重点課題として事業を推進した。

本物のケアでは、エキスパートスキルリーダーを1名増員し、現場業務から抜ける時間を作り全サービス共通の介護マニュアルを作成、研修計画の立案と実践を中心的な業務として動いた。全職員に対して必須で介護技術研修と技術チェックを実施し、基本的な介護技術の習得に努めた。また自立支援介護の推進では、毎年参加している自立支援外部研修会で使用される事例検討を施設内研修として取り入れ、自立支援介護の専門的な知識・技術の習得にも力を入れた。

本物の接遇力では、昨年度からオールピカ1委員会を継続し、各部署から1名ずつ選出された委員会活動を深め、言葉だけではない、相手の事を大切に思う接遇を実現させていくために、ピカ1チェック（身だしなみ・言葉など）、ピカ1day（丁寧な対応を意識する日）、サンキューカード（職員同士感謝の気持ちを伝え合う）、サンキュー通信の発行等を行った。

本物の繋がりでは、ボランティア交流会・参観会・納涼祭・飯田祭り・S型スタッフ等の行事、また静岡市から認知症カフェを受託し、カフェすまいるとして居場所作りを軌道に乗せた。地域をもっと巻き込むために、今まで以上に地域やあすなろの家をアピールする意識で企画した参観会では、実行委員会形式で行い、あすなろを、あすなろが行っている活動を地域の方により知ってもらおうと各種催しを考え行った。認知症カフェでは、なごみさんとケアハウスを会場として、山原でんでん体操の方々や、山原S型デイさくら会さんとも繋がりながら毎月1回のペースで開催できた。

・地域／外部との関わり、連携

- | | |
|----------------------------|-----------|
| ・飯田地区S型デイサービス外出行事への協力（バス） | 1～2／月 |
| ・飯田地区S型デイサービス山田主任参加 | 2回／月 |
| ・飯田地区S型デイサービスミニ講演会 | 2回／月 |
| ・なごみ茶屋出張相談会 | 1回／週（火曜日） |
| ・ファミリーマート下野中店にて出張相談（初） | 2回／月 |
| ・ボランティア交流会開催 | 1回／年 |
| ・認知症カフェ「すまいる」開催（初） | 1回／月 |
| ・あすなろの家参観会開催（初） | 6月 |
| ・ふれあいの郷出前講座参加（初） | 7月 |
| ・山原堤清掃 | 6月・11月 |
| ・納涼祭にて、飯田地区社協よりボランティア協力を頂く | 8月 |
| ・港まつり参加 | 8月 |
| ・山原盆踊りに参加 | 8月 |
| ・関田神社秋のお祭に参加（カラオケ大会） | 10月 |
| ・さつま芋掘り（園芸ボランティア） | 10月 |
| ・飯田祭参加 | 10月 |
| ・飯田生涯学習交流館まつり参加（初） | 10月 |
| ・飯田地区S型デイサービス懇談会開催 | 11月 |
| ・飯田地区社協主催「調理実習」に管理栄養士参加 | 3月 |

・オールあすなろの実践

- ・キラキラ d a y 施設内や施設近隣の清掃活動 4回／年
- ・職員お揃いのポロシャツのデザインを全職員から募集 5月
- ・職員の子ども向け「あすなろの家に行ってみよう」企画 8月
- ・オールピカイチ委員会にて、各部署から委員を選出
接遇の意識付けを施設全体で取り組む（サンキュー通信・ピカ1 d a y ・標語カレンダー
ピカ1チェック・委員証発行）

・公衆衛生（労働安全）の取組

- ・腰痛予防 10時・15時30分に放送設備でチャイム・音楽を1分間流し、その間は業務の手を休め、講義で習った腰痛予防体操を職員各自が行った。
- ・感染予防 11月～3月に実施（手洗い・うがい・マスク着用・換気・超酸化水使用の徹底）
次亜塩素酸の効果により殺菌・消臭効果の高い空気清浄機を2台購入（家族会にも一部負担していただいた）し感染予防に努めた。
- ・職員へのインフルエンザ予防接種実施。
- ・産業医変更（田町診療所⇒福地外科循環器科医院）、h30.1.1～

・防災の取組

- ・特養1グループ／2グループ／3グループ／4グループ／5グループ／デイ／ケアハウスで、防災訓練を実施した。訓練内容は、地震発生→身を守る→火災発生→消火→消防への通報→避難→消防隊への状況説明・救助要請というもの。一連の動作をより多くの職員に体験してもらうことができ、来期以降も短時間でできる訓練を多くの職員が体験できるように実施する。

・職員育成の取組

- ・新人職員研修
- ・内部研修（2回／月）開催、職員自身が講師。
- ・エキスパートスキルリーダーを配置

○J Tを通じて職員の能力（スキル）の向上、やりがい向上、そしてサービスごとバラバラではない共通のサービス（スキル）を提供できるように、あすなろ各サービス共通の介護マニュアルを作成し、各サービス職員会議内で介護技術の指導を実施し、施設全体の介護技術・知識の向上に努めた。